

- 本日は私からは、2 点お伝えいたします。
- まず、7 月 13 日に原子力規制庁より示された、2025 年度の訓練評価結果でございます。
- 今回の当発電所での訓練評価は、「評価指標 5：確実な通報・連絡」における 4 つの項目のうち、「③10 条確認会議等の対応」、すなわち原災法第 10 条に該当するか原子力規制庁の確認会議で、本社の報告内容に誤記があるなど、正確性の面で B 評価がありました。その他は A 評価でした。
- 緊急時対策訓練については、福島第一原子力発電所事故以降継続して実施しており、先週までで、延べ 200 回を数えました。
- 最近の訓練では、様々なシナリオに対する練度が上がる中、発生確率のより低いシナリオについても対応しているところです。
- また、事象に対する戦術が複数ある中で、選択した以外の戦術ではどういったことが起こるのか、訓練後の振り返りで解説することで、より深い理解につなげることなどにも取り組んでいます。
- 今後も福島第一原子力発電所事故の反省と教訓を忘れず、現状に満足することなく、多様なシナリオによる訓練を重ねてまいります。
- また、昨日の規制委員会と CEO の意見交換会でもありましたように、通常の業務においても、7 つの約束を念頭に、安全最優先の姿勢を所員全員が意識してまいります。
- 訓練において抽出された課題点についても新たな改善に繋げていくことで、有事における対応能力の向上を図ります。

- 次に、明日から始まる「ぎおん柏崎祭り」についてです。
- 明日の夜に行われる、「民謡街頭流し」には、昨年に続き社員約 150 名で参加する予定です。
- 翌 25 日の「たる仁和賀」は、所員が各々の住む地域で参加していますが、これに加え、発電所近隣町内会から神輿の担ぎ手募集のお話が発電所にあり、所員が参加させていただきます。
- 最終日の「海の大花火大会」は、社長の小早川も鑑賞し、翌朝の「みなとまち海浜公園での清掃活動」に、昨年同様に参加させていただく予定です。
- 今年の「ぎおん柏崎祭り」と 8 月 15 日の「刈羽村ふるさとまつり」の花火では、改めて地域の皆さまに感謝を伝えるべく、社員有志と会社の合同で打ち上げを行います。
- 今後も地域の皆さまと一緒にあって、地域を盛り上げ、発電所の志に掲げた、「地域を愛し、地域に愛される発電所」を目指してまいります。
- 本日私からは以上です。